

I S T A N B U L

2020

国際地理 オリンピックに ようこそ!

第14回 科学地理オリンピック日本選手権 および
第17回 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



国際地理オリンピック日本委員会公式サイト <https://japan-igeo.com/>

主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、立命館地理学会、地域地理学会、日本地図学会、
経済地理学会、公益社団法人 東京地学協会、一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、一般社団法人 地理情報システム学会

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック社

国際地理オリンピックは 「地理力」競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU(国際地理学連合)の総会(プラハ:チェコ)で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、15回の世界大会と3回の地域大会(アジア・太平洋地域)が行われました。そして2020年にはイスタンブール(トルコ)で第17回国際地理オリンピック iGeo Istanbul 2020 が行われます。

国際地理オリンピック(世界大会)

第1回大会	1996年	ハーグ:オランダ
第2回大会	1998年	リスボン:ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル:韓国
第4回大会	2002年	ダーバン:南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グティニア:ポーランド
第6回大会	2006年	ブリスベン:オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ:チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ:台湾
第9回大会	2012年	ケルン:ドイツ
第10回大会	2013年	京都:日本
第11回大会	2014年	クラクフ:ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ:ロシア
第13回大会	2016年	北京:中国
第14回大会	2017年	ペオグラード:セルビア
第15回大会	2018年	ケベック:カナダ
第16回大会	2019年	香港

地域地理オリンピック(地域大会)

第1回大会	2007年	シンチュー:台湾
第2回大会	2009年	つくば:日本
第3回大会	2011年	メリダ:メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な現象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト(MMT)

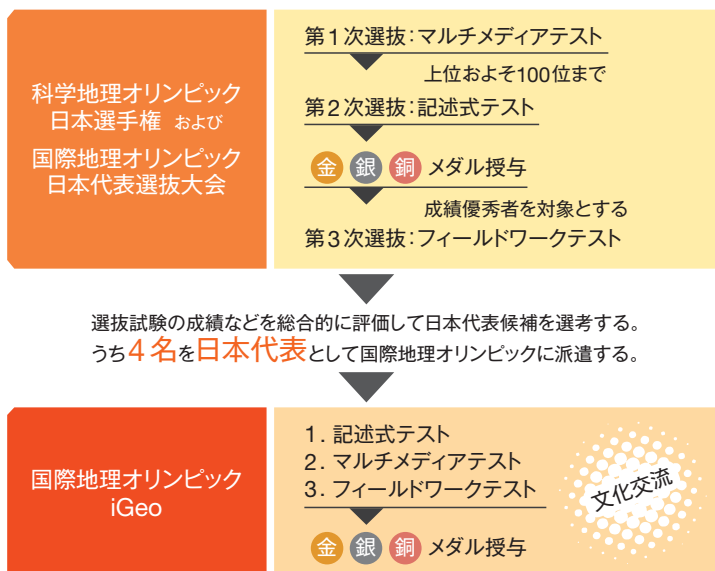
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な現象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークテスト(FWT)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な現象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック(世界大会)ではすべて英語での出題と解答が求められます(辞書の持ち込みは可)。そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも目的とするところですが、世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」の大切な役割です。



◆ 募集要項

参加資格

2019年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手(4名)は、2020年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、国内大会には参加できませんが、世界大会代表の選抜対象にはなりません。

選抜について

■第1次選抜 2019年12月14日(土)

会場：札幌、函館、秋田、盛岡、山形、仙台、会津若松、土浦、前橋、東京、新潟、上越、高岡、金沢、福井、静岡、豊橋、名古屋、京都、福知山、大阪、加古川、浜田、岡山、福山、広島、高知、福岡、久留米、長崎、大分、宮崎、鹿児島、那覇の34会場を予定。

なお、応募状況などにより、会場を変更することがあります。最新の情報を、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ(<https://japan-igeo.com/>)で確認してください。また、担当の先生が責任を持って試験会場を提供し、試験を実施していただける場合は、特例的に試験会場を設置することができます。ご希望がある場合には、科学オリンピック共通事務局(TEL:042-646-6220、E-mail:info@contest-kyotsu.com)にご連絡ください。検討の上、主催者が決定します。

内容：マルチメディアテスト

〈スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は60分。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

■第2次選抜 2020年2月16日(日)

会場：東京、大阪などを予定。※前回大会では全国9カ所で開催。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。

内容：記述式テスト

〈地図・資料などの読解を中心にした記述式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は120分。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績優秀者の上位から選抜された者が第3次選抜試験に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

■第3次選抜 2020年3月14日(土)～15日(日)

会場：関東地方で実施予定。

内容：フィールドワークテスト

〈フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。当該の受験生には直接通知します。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2020年8月上旬(予定)にイスタンブール(トルコ)で開催予定の第17回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題の一部は、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ(<https://japan-igeo.com/>)で閲覧することができます。

『地理オリンピックへの招待—公式ガイドブック・問題集—』(古今書院)も参考にしてください。

参加申込みについて

申込期間：2019年9月1日(日)～11月15日(金)

郵送は11月15日(金)必着、WEBエントリーは11月15日(金)23:59まで。

申込み方法：郵送またはWEBエントリー

参加申込書を郵送する方法と、申込み専用ページからWEBエントリーする方法があります。どちらの申込み方法でも、個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」が選べます。なお、応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを、郵送の場合は保護者の署名・捺印を、それぞれ忘れないようにお願いします。

「個人申込み」 申込み専用ページからWEBエントリーするか、本募集要項に添付された参加申込書に必要事項を記入して下記の郵送申込書送付先に郵送してください。

「学校申込み」 学校申込みには④学校で一括して申込み一般会場で受験する方法と、⑤自校で在校生だけで受験する方法があります。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

④の場合には、応募する生徒全員に本募集要項に同封された「申込書」の①個人(生徒)申込み欄に記入させ、担当する先生が「申込書」の②学校申込み(一般会場)欄に記入してください。応募する生徒の人数分の参加申込書と、先生が②に記入した参加申込書をまとめて、郵送申込書送付先にお送りください。

⑤の場合には、担当する先生がWEB申込専用ホームページ(下記アドレス)にアクセスし、特例会場の設置条件を読み同意されたうえで、申請書をダウンロードして必要な項目に記入の上申請をしてください。主催者が協議して申請の可否を検討します。特例会場として認められた場合、④と同様に、応募する生徒全員に本募集要項に同封された「申込書」の①個人(生徒)申込み欄に記入させ、担当する先生が「申込書」の③学校申込み(特例会場)欄に記入してください。応募する生徒の人数分の参加申込書と先生が③に記入した参加申込書をまとめて、郵送申込書送付先にお送りください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、会場までの交通費等は参加者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学のAO入試・推薦入試等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を対象として、筑波大学・東北大学・駒澤大学では、特別入試の対象となっています。

WEB申込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ!

・TEL 042-646-6220
(平日12:00～13:00 / 17:00～19:00)
・E-mail info@contest-kyotsu.com

郵送申込書送付先

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2
八王子SIAビル8F
(株)教育ソフトウェア内
科学オリンピック共通事務局 宛て

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック日本代表選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会(以下、「主催者」という)が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック日本代表選抜大会」においては、参加申込みの際に提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権

兼国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供にあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。

・ご提供いただいた個人情報の一部を、参加申込者の受験される第1次選抜の会場に対して、第1次選抜当日の出欠確認のために必要な範囲内で一時的に提供し、使用後返却回収します。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

5. 個人情報の管理者について

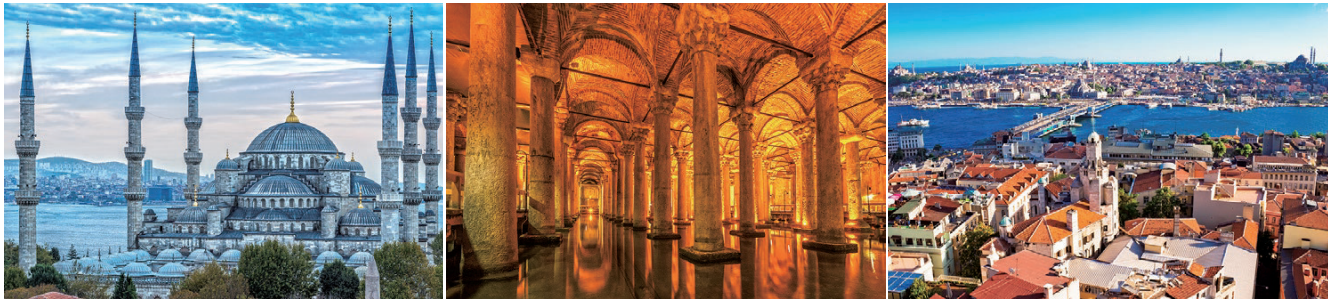
ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
実行委員長 井田 仁康
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会事務局 局長 滝沢 由美子

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区京生2-4-16

学会センタービル
公益社団法人 日本地理学会 事務局 気付
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 事務局
E-mail: geolympiad@ajg.or.jp



第17回 国際地理オリンピック iGeo Istanbul 2020

会期 2020年8月上旬(予定)

会場 イスタンブール(トルコ)およびその周辺



地理オリンピックガールズトーク

Girl's Talk

「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことないです。世界では女子が活躍しています。強化研修会で再会した2014年クラブ大会に出場した金田懐子さんと引率教員の井上明日香先生そして、国際地理オリンピック日本委員会実行委員会事務局長の滝沢由美子先生。女子が語る国際地理オリンピック世界大会。

金田 懐子さん K (東京都立武蔵高等学校出身 東京大学教養学部在籍 2014年クラブ大会出場)

井上 明日香さん I (国際地理オリンピック日本委員会実行委員、神奈川県立川崎高等学校教諭 2014年クラブ大会引率教員)

滝沢 由美子さん T (国際地理オリンピック日本委員会実行委員会事務局長(2017年当時)、元帝京大学教授)

I: 金田さん久しぶり。大学はどう。

K: 先生、お久しぶりです。楽しんでますよ。東欧の言語や文化に興味をもって勉強しています。

I: それは、クラブに行ったことと関係ある？

K: もちろん。地理オリンピックに参加して刺激されたことが影響しています。地理オリンピックではいわゆる試験だけでなく、交流プログラムも充実していました。

T: 女子の参加者は多いのかしら？

K: 実は、世界大会では女子の参加者は多いのです。日本で予選を受けたときは男子がはるかに多かったけど…。テストの結果は知りませんが国際交流は、実は女子が得意ですね。どこの国でも女子のほうがパワーあるみたい(笑)。おかげさまで世界中に友人ができました。

I: リーダーも女性が多いですし、女子が少ないという意識はないですね。実際数は男子がやや多いですが…。本当に女性はどこでも強いですよ(笑)。今でも印象に残っていることはありますか？

K: 自転車で国境を越えたことが印象に残っています。人も言葉も文化もつながっているという実感を持ってました。

T: とところで、どうして地理オリンピックを受けたの？

K: 高校の地理の先生の勧めです。クラブで世界大会があるのだけど受けてみないって。行ってみたいところだったし。でもまさか代表になって実際に行くことができるとは思ってなかった。他の科学オリンピック、たとえば数学や物理などはどこでやってもあまり関係ないですよね。でも地理はどこでやるかって重要だと思います。

T: では、地元の学生が有利なの？

K: そんなことないです。開催国の全選手は4名だけだし、地理的なことを知っているかより、観察力、地図読解力や作成力そして分析力が必要な問題がほとんどですから。地理はさまざまな分野があるので、自分の興味のある分野から勉強するのも悪くないと思います。

I・T: そうですね。



テストの様子 (京都大会より)



記述式テスト



国際大会では英語で解答します



フィールドワークテスト



現地での景観観察



観察事項をまとめる



現地での課題説明

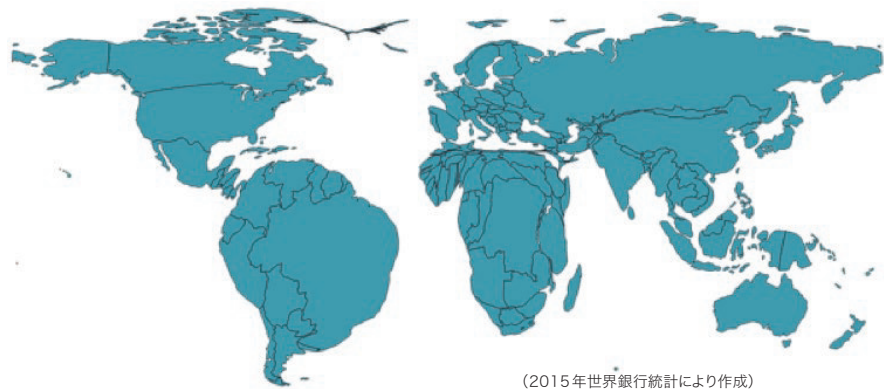
科学地理オリンピック (国際地理オリンピック) の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

マルチメディアテスト (MMT)

第1次選抜試験 問題例

What is shown on this cartogram?

- ① Forest area
- ② Population
- ③ GNI
- ④ Total railway extension



(2015年世界銀行統計により作成)

解答①

訳: このカルトグラムは何を示しているか。

①森林面積 ②人口 ③GNI ④総鉄道距離

カルトグラムとは統計地図の一種であり、統計数値を面積に置き換えたものである。カルトグラムの読解は、正しい面積が示された地図が頭に入っていることが前提となっている。この地図ではブラジルやコンゴ民主共和国、インドネシアが強調される一方、アラビア半島がほとんどなくなっていることに着目する。

記述式テスト (WRT)

第2次選抜試験 問題例

図1は、1975年～2015年における東京都庁を中心とした半径0～10kmの範囲内にある地域の人口の増減をグラフ化したものであり、図2は、東京都23特別区における全用途別平均価格 (地価公示価格) の推移をグラフ化したものである。図1にみられる最も大きな変化を読み取り、その変化の理由について、図2のグラフを踏まえて説明しなさい。

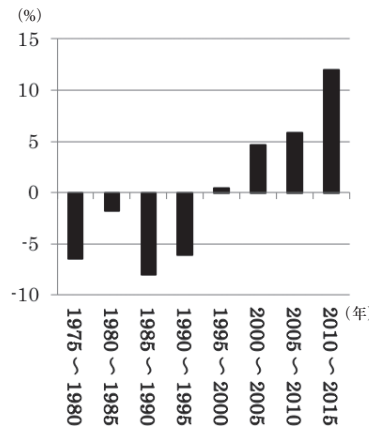


図1 (「日本国勢図会」などより作成)

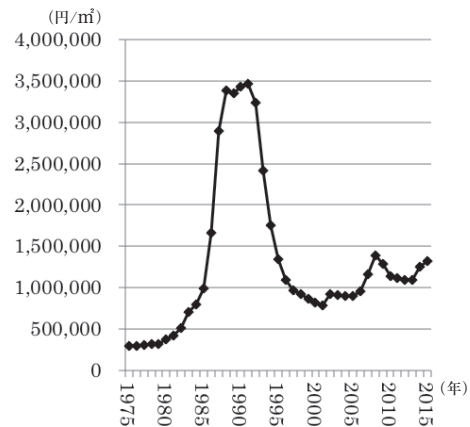


図2 (東京都財務局HPより作成)

解答例

1975年～1995年までは人口減少が著しく、1995年～2015年は人口増加に転じている。図2からも読み取れるように、バブル崩壊に伴い地価の下落がおきたため、人口増加に転じるなど、都心回帰の傾向がみられる。



2018年8月にケベックで行われました /

第15回

国際地理オリンピック iGeo Quebec 2018

代表生徒・引率教員レポート

世界大会はテストではありません。
ポスターセッションや文化交流・エキスカッションなど
多彩なプログラムが用意されています。



各国選手団とともに



ポスターセッションの様子



文化交流会にて



マルチメディアテストの様子

地理が好きの方、テストでなぜか高得点をとってしまう方、その能力を世界にぶつけてみませんか。私にとって世界大会は、人生で最も多くのインスピレーションを感じることでできた場でした。世界各国の地理好きと触れ合い、競い合えるといった経験は間違いなく人生を変えた出来事でした。さらに、それまで単なる座学であったことを実践のレベルまでグレードアップさせる場ともなりました。地理は理の字が使われているように文系に見えて理系の要素も持ったハイブリッド科目だと思います。ですから、考えながら学ぶことで地理が究極的に楽しくなると思います。楽しみながら、世界を目指して頑張ってください！将来は同じ地理好きとして私に様々な地理を教えてください。待ってます！

日本代表選手 佐藤光駿：早稲田高等学校

皆さんは「地理」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。何がどこにあり、ここでは何が行われている…。覚えることが沢山ありますよね。では、何のために地理を学ぶのでしょうか。「地理」学は地表面で起こるあらゆる出来事を扱うことができる学問です。ですから、地理オリンピックでは皆さんが学校で学ぶことを始めとするさまざまな知識を駆使して解答を導き出す必要があります。時には歩き回って答えを探しに行きます。ほとんどの問題に絶対的な解答はありません。皆さんが導き出した解答が論理的に正しければ正解となります。さあ、皆さんの知識を「活用」してみませんか。テストだけではない、地理の本当の使い方、楽しさを求めてみませんか。

日本代表選手 中尾俊介：洛星高等学校

2018年の夏、僕は国際地理オリンピックの代表としてケベックシティに行き、忘れられない体験をすることができました。カナダの雄大な自然や歴史ある街並みもさることながら、最も印象に残ったのは他国の参加者との交流です。各国で厳しい予選を突破してきた代表と各国の文化について話したり、テストが終わったあとに設けられているイベントで交流したりしました。僕にとって、このオリンピックは世界を自分の目で知る大きな機会になったので、皆さんにはぜひ国際地理オリンピックに参加してほしいと思います。そのための第一歩が国内予選です。第1次予選は4択の問題からなるマルチメディア試験で、クイズ形式で参加することができます。参加費も無料ですので、ぜひ参加してください。

日本代表選手 長岡祐生：ラ・サール高等学校

地理オリは単なる学力テストではありません！神戸の地下街で階段の高さをひたすら測ったり、カナダの森や砂浜を走り回って地図を作ったり、英語で富士山の湧水についてのポスタープレゼンをしたり…まさに知力と体力の総合勝負なのです！私は参加を通じて地理という学問の奥深さを覗くことができました。さらには世界各国から集まる地理マニアとともに開催国の文化を学んだり、将来の夢を語り合ったり…彼らからも沢山の刺激を受けました。地理オリンピックで得た経験は私の一生の財産です。全国の地理好きの皆さん！地理を愛する気持ちさえあれば、世界大会への道は開かれています。地理オリンピックに参加して、皆さんの「地理愛」を試してみませんか？

日本代表選手 武藤彰宏：東京都立日比谷高等学校

地理オリンピックの最大の特徴は、筆記試験の他にフィールドワークテストが出題されることです。景観観察や作図・読図作業、資料分析等を通じた、課題解決能力が問われますが、実際に現地を歩く、これこそ地理の醍醐味です。国内大会は、世界大会に準じて行われています。国内大会を受けることで、世界が求める地理力を知ることができるはず。また、大会を通して選手も私も、世界各国の人と語り合い、良い友情を築くことができました。これは一生の財産です。さあ、次の世界大会への扉を開くのは、これを読んでいるあなたかもしれません。

日本代表引率教員 小河泰貴：岡山県立津山高等学校

地理オリンピックの国内選考では、大学入試問題のような、選択式および論述式の問題が出題されます。入試との関わりで、参加の有無を検討するのは良くないかもしれませんが、選考を通して学べる事は多いはず。入試問題との違いは、英語での出題がある事に加えて、国内選考および世界大会では、フィールドワークテストが実施される事です。既習事項をもとに地域をみて考えて地図にして、さらに考える、という行程はまさに地理学の醍醐味と言えます。大学受験勉強の一環、自分の実力を試す機会として、地理学の醍醐味を知る機会として、勿論日本代表になり世界を目指したいという動機も大歓迎です。多くの中高生に地理オリンピックに関心を持ってもらい、挑戦をして欲しいと思います。

日本代表引率教員 林靖子：獨協埼玉中学高等学校